

データライブ株式会社

クラウドよりメーカー保守切れサーバ利用の選択肢

▶ ITライフサイクルを円滑に回すデータライブの保守サービス

メーカー保守切れ IT 機器の EOSL (End of Service Life) /EOL (End of Life) ハードウェア保守サービスを行うデータライブ株式会社 (東京都文京区)。IT 機器の「延伸」という選択肢を提案し、クラウドサービスにはないメリットを打ち出している。クラウド移行よりもリスクが少なく、長期的に見れば価格も安く抑えられるのだ。メリハリの利いた IT 投資が行えるため、同社のサービスを採用する企業は年々増えている。

終息へ向かうシステムをつかさどる IT 機器をどうするか

「収益に直結したり、事業戦略上重要であったりするシステムをつかさどる IT 機器に、より多くの費用をかける一方で、終息へ向かうシステムの IT 機器にかかるコストは極力抑えようとする企業が増えています」。

データライブの山田和人社長はこう話す。ここ一年で顕著に増えてきたというのだ。終息へ向かうシステムをつかさどる IT 機器の多くは、メーカー保守契約の期限切れが近づいているか、あるいはすでに契約期間を過ぎていることが少なくない。こういった IT 機器をどう使い続けるのか――。

その方法は大きく二つ考えられる。一つはクラウド環境への移行だ。サーバなどを自社で持たず、クラウドベンダからサービスとして提供を受けることで、メーカー保守切れのサーバを利用せずにシステムを維持できる。

ただし、クラウド環境への移行は仮想化基盤を備えていない企業などにとって、少なくないコストがかかる。また、クラウド環境への移行時に生ずるリスクも考えなければならない。

移行のリスクがなく、料金も安価というメリット

こうした課題をクリアできるもう一つの方法が、IT 機器メーカーに紐付かず、独立した立場で保守を行う (第三者保守) 企業のサービスを利用することだ。

それを行う企業の一つであるデータライブは、IT ライフサイクルに「延伸」という新たな発想を提案。多くの企業のニーズに応える EOSL/EOL ハードウェア保守サービスを行っている (左下図参照)。

第三者保守サービスの提供を受ければ、利用中の IT 機器をそのまま使い続けることができるため、クラウド環境への移行する際のようなリスクは発生しない。また、サービス料金も安価だ。

「当社の EOSL/EOL ハードウェア保守サービスの料金が、メーカーの保守サービス料金よりも高いと思っているお客様は少なくない。しかし、実際にはその反対で、当社の提供するサービ

れるケースとして、システムのリプレース (交換) 期間中に旧システムの IT 機器のメーカー保守が切れてしまうので、そのメンテナンスを行うことがある。大企業のシステムのリプレースには 2 年近くかかることもあるからだ。

「メーカー保守期限が切れていることを知らずに使い続け、故障したときに初めて気付くケースもよくある。その場合は“スポット修理”も受け付けている。保守サービスを利用していなくても、修理の要望に応じている」と話す。

マルチベンダ対応に一日の長、Sler にとっても心強い

また、データライブはマルチベンダ対応を行っている (右下記事参照)。障害の切り分けを行う必要がなく、契約窓口を一本化できるなど、企業にとってメリットが大きいため、ニーズ



データライブの山田社長 (右) と阿部英明本部長

データライブの今後の事業展開として山田社長は、ハードウェアだけでなく、ソフトウェアにも対応していくことを挙げる。また、IT 機器のパーツの検査技術をより高め、パラメータによって壊れる可能性の高いものを選び出し、パーツの品質を高める努力も続けていく方針だ。

「経年劣化したパーツの検査は IT 機器メーカーも行っていないはず。パラメータの統計値で判断できるようにしていきたい」と同社長は強調する。

クラウドに注目が集まり、データライブの EOSL/EOL ハードウェア保守サービスの認知度はそれほど高くない。だが、それを必要としている企業が非常に多いことは、同社の好調な業績が物語っている。(百瀬崇)

<お問い合わせ>

データライブ株式会社

東京都文京区本郷 2-38-4 本郷弓町ビル 1、2 階
TEL : 03-5684-5412 <http://www.dataalive.co.jp/>
リユースサーバ.net
<http://www.reuseserver.net/>
EOSL/EOL 保守サポート概要
http://www.dataalive.co.jp/solution/eosl_eol_service.html
【3月サービス開始】富士通 PRIMERGY EOSL/EOL サーバ保守
<http://www.reuseserver.net/hpgen/HPB/categories/98764.html>

マルチベンダに対応し IT 投資の最適化を実現

の方がメーカー保守料金よりも安い。また、長期的に見ればクラウド環境に移行するよりも、安価にシステムを使い続けることができるメリットがあります」と山田社長は説明する。

保守切れに気付いた時にも“スポット修理”で対応

EOSL/EOL ハードウェア保守サービスを利用することで、企業は最適な IT 投資を行うことが可能。重要なシステムとそうでないシステムとでメリ

ハリをつけることができるからだ。

「最近、景気は回復しつつあるものの、IT 投資が大幅に増えることは考えづらい。そのためメリハリを付けた投資が欠かせず、メーカー保守切れの IT 機器を使い続けるという選択が増えてくるはず」(山田社長)。2012 年度の同社売上高が前年対比 130% だったことは、その証拠の一つといえる。

同社サービスが利用さ

が高まっている。

データライブのサービス料金は、IT 機器ベンダのそれよりも安く、マルチベンダ対応に関しても一日の長がある。

IT 機器のパーツ調達力も特長の一つだ。国内 50 社を結ぶ中古 IT 機器調達ネットワークを構築し、常に 1 万台以上の在庫を用意。また、北米や欧州の先進国で 700 社に上る海外ネットワークも構築。国内だけでは調達困難な IT 機器もカバーしている。

富士通や NEC のサーバ保守にも対応

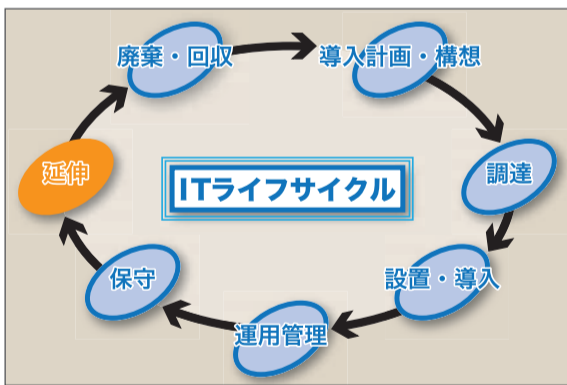
データライブの特長の一つがマルチベンダ対応だ。これまで、オラクルやヒューレット・パッカド (HP)、シスコシステムズ、IBM、デルなど海外ベンダを中心に EOSL/EOL ハードウェア保守サービスしてきたが、昨夏には富士通製品の PC サーバに対応。今期中には NEC の PC サーバにも対応する予定だ。

ノックリサーチの調べによれば、12 年度上半期 (4 月～9 月) の国内 PC サーバの市場シェアは、NEC (27.4%)、

富士通 (21.4%)、日本 HP (20.0%)、日本 IBM (9.8%)、デル (9.2%)、日立 (7.0%) という順になっており、同社は国内に出回る PC サーバのほとんどに対応できる体制を着々と整えつつある。

また、北海道から九州まで、パートナー企業を含めて 200 人以上の常勤メンテナンススタッフを揃える。IT 機器メーカーによっては、対応できない地域もあったが、ここ一年でその面でのサービスも向上させているのだ。

「延伸」の発想を加えた IT ライフサイクル



データライブではメーカーが販売終息/保守サポート終了したサーバ・ネットワーク機器をサポート

EOSL/EOLハードウェア保守

マルチベンダ対応・全国オンサイトサービス網・24h障害コール受付対応・24hデリバリーサービス

1 パーツ保守 2 オンサイト保守 3 オンサイトスポット修理

- 複数のベンダ窓口を一本化
- パーツのみの供給も可能
- 予備機の交換、復旧作業を現地にて対応
- 突然の故障に対応

【主要対応メーカー※OEM機器の対応も可能】

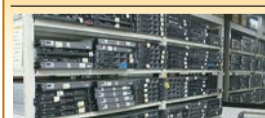
Oracle (Sun), HP 9000 / HP Integrity, HP ProLiantシリーズ, DELL PowerEdgeシリーズ, 富士通 PRIMERGY (プライマジー) シリーズ, NEC Express5800シリーズ, Ciscoスイッチ・ルーター, F5 BIG-IPシリーズ

4 国内検査体制



幅広いメーカー・モデル、年代迄調達が可能で、パーツを国内に集積し、ハードの再構築、品質検査を行い、安定的な供給体制を配備

5 GLOBALな調達網



日本国内はもちろん、世界各国リユースサーバを形成しており、必要な IT 機器、保守部品を事前に確保

6 国内サービス拠点



各メーカー機器を扱うパートナー企業と連携し全国をカバー (常勤メンテナンス要員200人以上)、24h倉庫からのチャーター配送体制を配備

保守・機器調達
不要機器買取り
のご連絡はこちら



03-5684-5413
sv@dataalive.co.jp

資料請求・お見積もり受付中

http://www.dataalive.co.jp/solution/eosl_eol_service.html

サーバ保守 修理のデータライブ

検索



データライブ株式会社
システムを延伸稼働させる専門企業です